

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		事務所、現場事務所内に掲示、毎月1日の朝礼時で唱和し、経営目標の共有・実践に取り組んでいる								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社員教育を実施している コンプライアンス対応等の社内へ周知(社内掲示板、メール等)している																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		社内会議にて都度周知している										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		組織図での明確化、各部門にて担当者を任命している																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する周知報告、保護の規定を定めている								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報が記載されている書類等は管理責任者を置き鍵付きのキャビネットで管理している																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ステークホルダーからの意見や要望を取り入れ、対話による双方向の良好なコミュニケーション、連携を図り、公平公正な取引を行うことはもちろん互いに成長し協力し合える信頼関係の構築に努めた取り組みを行っている															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	自然災害や事故など緊急時に備え訓練や備蓄など行っている 事業継続計画(BCP)の策定予定【2025年5月実施予定】									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	外部コンサルや税理士などから意見・アドバイスをもらい検討、対策を行っている									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別やハラスメントの禁止を周知徹底し、社員への研修等を行い、相談窓口を設置している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎朝のKY活動実施、社員の労働安全衛生講習への参加を実施している			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態にかかわらず、社会保険や雇用保険、退職金制度にも加入している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		インターバルの導入により、終業時間～始業時間の11時間のインターバルの徹底、また上司が有給休暇を積極的に取得することにより部下が取得しやすい環境を作っている			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		能力向上の講習・研修への参加、資格取得のための補助・支援を行っている				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎月の朝礼にて注意喚起や定期的な健康診断の受診を行い、診断結果によりカウンセリングを行っている 季節や環境により必要なものを支給している(夏:空調服・冷却タオル・熱中症対策キッド等 冬:電熱ベスト等)			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		現在、障がい者や高齢者も活躍している 希望者は定年65歳後に再雇用している 女性の技術者も活躍しており、育成にも取り組んでいる				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	感染症対策もあり、月一回の全体朝礼を密にならないよう屋外で手短に行う web会議を導入し社員会議等を行っている			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	現場でのICT活用はもちろん、事務作業のデジタル化やオンライン化を導入し業務の効率化を図っている								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	プライト企業の認定を受けている				3	4				8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			株式会社 藤本建設工業																			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		委託契約・マニフェスト伝票により適正に管理を行っている 廃棄物指導要綱他、法令などを遵守し、適正に処理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1																						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エコアクション21の取り組みにて把握し削減に取り組んでいる							7.3						13																								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エコアクション21の取り組みにて把握し削減に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15																						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		騒音振動対策の機械を使用している 特定外来生物の現場での確認による駆除・防除等を行っている グリーン購入法に基づき環境に配慮した製品の購入、年数回のボランティアで清掃活動を行っている						6.6								14	15																						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内のごみは分別し、ごみの量を把握、プラスチックごみや可燃ごみを減らす取り組みを行っている										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15																					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		エコアクション21の取り組みにより水の使用量を把握し節水を心がけるよう周知している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17																			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		裏紙をメモ用紙に使用し、可能な限りリサイクル製品を購入・使用している										9.4			12.4 12.5	13	14	15																					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15			17																		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17																		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	作業所では、国土交通省低排気ガス規制の機械を使用している 再生可能エネルギーとして熊本県小水力推進協議会に積極的に参加、南阿蘇水力発電所 県民発電所第1号認証熊本方式にも積極的に参加し地域へ貢献をしている							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3																								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	団体などが主催する植林活動に積極的に参加している							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14																						
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3																								
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2																			

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 藤本建設工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類

No.

チェック項目

基本

チャレンジ

具体的な取組み
(※事業者が記載する欄)

主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

製品・サービス

37

【製品・サービスの安全性と品質】
・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。

●

ISO9001を平成14年より取得し20年以上、継続的に改善を行い会社の仕組みを構築している

3.9

9

12.4

38

【ユニバーサルデザイン】
・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。

●

各現場の仮設トイレは快適トイレを設置し、道沿いの現場の場合は観光客等、道案内を拒まないように社員教育し、要望があればトイレなどの開放も行っている

9.1

10

11.7

17

39

【地域資源】
・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。

●

2.3
2.4

7.3

8

9

11.a

12.3

13

14

15

17

40

【木質化の取組み】
・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。

●

7

12.2

13.1

15

41

【社会課題解決】
・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。

●

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

42

【攻めの農林水産業】
・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。

●

2.3
2.4

8.2

9.2
9.4

11.a

12.2

14

15

17

持続可能な社会・地方創生

43

【地域への参画】
・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

●

地域との防災協定、防災活動、林道・国道の清掃作業。子供会活動への協力、保育園の砂場の砂補充などを行っている

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

44

【防災、減災、レジリエンス(自助)】
・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。

●

ハザードマップの設置と周知、緊急時のAEDの設置、火災訓練と手順書の作成を行っている
災害時などの緊急時に出動できるよう連絡体制を整えている

4

11.5

13.1

16

45

【防災、減災、レジリエンス(共助)】
・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。

●

当社は地域防災の為、従業員が消防団員として防災活動に参加できるように消防団協力事業所へ認定されている。そのため、勤務時間中の防災活動への出動を率先してできる体制を整えている

1.5

3

4

10.2

11.5

13.1

16

17

46

【防災関連商品の開発・販売】
・防災関連商品の開発・販売を促進している。

●

9

11

12

13.1

47

【SDGsの普及啓発】
・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。

●

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

48

【インターンシップ等の受入れ】
・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。

●

地元中学校の職場体験や高校生のインターンシップ受け入れで、より多くの学生たちに興味や学びの場を提供している

4

8.6

10.2

17

49

【若者の地元定着等】
・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。

●

就職説明会の参加、インターンシップの活用、地元採用等に力を入れている

4.4

8.5
8.6

17

50

【農林水産業の担い手確保】
・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。

●

2

4.3
4.4
4.5

8.6

10.2

12

13

14

15

17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3